明治記念大磯邸園の所有に係る経緯

参考資料－2

和暦	明治22	明治27	明治28	明治29	明治30	明治31	明治32	明治34	明治35	明治36	明治37	明治38	明治39	明治40	明治42	明治43	明治44	明治45 大正元	大正3	大正6	大正8	大正9
西暦	1889	1894	1895	1896	1897	1898	1899	1901	1902	1903	1904	1905	1906	1907	1909	1910	1911	1912	1914	1917	1919	1920
旧滄浪閣（伊藤邸跡・李王家別邸）		東京から小田原への往復の途中で、大磯駅すぐ近くにある旅館招仙閣や群鶴楼に立ち寄るようになった。第二次伊藤内閣（1892～）	陸奥外相の勧めで、大磯の西端の小磯に別荘を起工	伊藤博文　本邸（1896～1921） 清国の李鴻章がかつて題贈した小田原の「滄浪閣」の三字の額を移す 5月　大磯町西小磯に「滄浪閣」完成	10月1日本籍を東京から大磯町に移し、大磯「滄浪閣」が本邸となる	第三次伊藤内閣を組閣（1月～6月）		第四次伊藤内閣を組閣				韓国統監府初代統監となる		博文の働きかけで韓国李王朝皇太子李垠が日本に留学 滄浪閣に韓国李王家の李鍵が訪問	中国・ハルビン駅で伊藤博文暗殺　享年69歳	博文死後、伊藤夫人（梅子）の住居となる							（梨本宮（大磯に別荘を所有）の長女方子と結婚）
旧大隈別邸・旧古河別邸	テロによる爆弾により負傷。右脚切断 外務大臣を辞任、枢密顧問官となる			第二次松方内閣の外務大臣に就任 立憲改進党、立憲革新党等と合同して進歩党を結成	大隈重信　別邸(1897～1901) 大磯に大隈重信邸を建築	第一次大隈内閣誕生（6月～11月）	農商務大臣を兼任、後に外務大臣兼農商務大臣を辞任						5月　潤吉死去に伴い虎之助が所有									
陸奥宗光別邸跡・旧古河別邸		第二次伊藤内閣の外務大臣として、日英条約締結の功により華族（子爵）を授かる 12月　大磯に別荘を建築	6月　大磯にて療養	陸奥宗光　別邸(1894～1904) 外務大臣を辞任 大磯やハワイ（6月～）にて療養生活を送る			10月　相続により亮子夫人が所有 8月　肺結核のため死去、享年54歳※数え年		5月　陸奥廣吉、古河潤吉に所有が移転				5月　潤吉死去に伴い古河虎之助が所有				原六郎氏（横浜銀行頭取）、赤星鉄馬の土地を買増す					
西園寺別邸跡・旧池田邸		第二次伊藤内閣の文部大臣として初入閣	陸奥外務大臣を助けて外務大臣臨時代理、次いで外務大臣兼任となる			第二次伊藤内閣の文部大臣に就任		西園寺公望　別邸(1898～1914) 枢密院議長と内閣総理大臣を兼任	伊藤の勧めもあって滄浪閣の西隣に茅葺の「隠荘」を建築	伊藤の枢密院入りの後を受けて、政友会総裁			第一次西園寺内閣				第二次西園寺内閣			伊藤が死去した後は、興津「坐漁荘」に別荘を移す	第三次桂太郎内閣 大正天皇即位 明治天皇崩御	
世の中の動き	10月　外務大臣大隈重信狙撃される 2月　大日本帝国憲法発布	第二次伊藤博文内閣 7月　日清戦争勃発	4月　日清講和条約調印	第二次松方正義内閣		第二次山縣有朋内閣 第一次大隈重信内閣 第三次伊藤博文内閣		第一次桂太郎内閣 第四次伊藤博文内閣（M33～）				11月前年2月日露講和条約調印	第一次西園寺内閣		第二次桂太郎内閣（M41～44）	8月　韓国併合条約締結	第二次西園寺内閣			7月　第一次世界大戦勃発 第二次大隈内閣 第一次山本權兵衛内閣（T2～3）		

和暦	大正10	大正11	大正12	大正13	大正14	大正15 昭和元	昭和7	昭和12	昭和13	昭和14	昭和15	昭和16	昭和20	昭和21	昭和23	昭和25	昭和26	昭和27	昭和29	昭和31	昭和35	平成19	平成20	平成30
西暦	1921	1922	1923	1924	1925	1926	1932	1937	1938	1939	1940	1941	1945	1946	1948	1950	1951	1952	1954	1956	1960	2007	2008	2018
旧滄浪閣（伊藤邸跡・李王家別邸）	梅子が東京の伊藤博邦の邸宅に身を寄せる事になった為、伊藤博文の養子である博邦から李王世子（李堈）に譲渡され、李王家別邸となる		関東大震災で滄浪閣が倒壊			滄浪閣旧材を利用しながら李王家を再建（米澤栄三氏談）	第二次大戦終了まで大磯別邸として使用					1０月　旧滄浪閣に「伊藤公滄浪閣之舊蹟碑」が建立される	米軍（ＧＨＱ）に接収	李王家　別邸(1921～1946) 内閣書記官長に就任 政治家の樺横渡の所有になる	樺横渡所有	1952年国政に復帰、59年に運輸大臣になる 1947年公職追放	西武鉄道㈱所有 5月　西武鉄道株式会社が購入		12月　関連グループの宿泊施設として開業		4月　邸内にあった五賢堂が元内閣総理大臣吉田茂邸内へ還座	宿泊施設の営業終了		民間事業者所有 （建造物附杉戸絵4枚）大磯町有形文化財に登録	3月現在は利活用されていない
旧大隈別邸・旧古河別邸											3月　虎之助死去、享年54歳		家督相続により古河従純が所有 昭和18年9月			古河電気工業㈱　所有 3月　古河電気工業㈱に所有移転								3月現在、民間企業の迎賓館として利活用されている
陸奥別邸跡・旧古河別邸			関東大震災で一部（旧東館別邸）大破	原型を残すように改築。以前の建物は足尾銅山の柏木平へ移築。	太田晦巌（1879～1946）により「聽漁荘」と名付けられた						3月　虎之助死去、享年54歳		家督相続により古河従純が所有 昭和18年9月										古河電気工業㈱　所有 6月　古河電気工業㈱に所有移転		3月現在、民間企業の迎賓館として利活用等されている
西園寺別邸跡・旧池田邸																								
世の中の動き																								

和暦	明治22	明治27	明治28	明治29	明治30	明治31	明治32	明治34	明治35	明治36	明治37	明治38	明治39	明治40	明治42	明治43	明治44	明治45 大正元	大正3	大正6	大正8	大正9
西暦	1889	1894	1895	1896	1897	1898	1899	1901	1902	1903	1904	1905	1906	1907	1909	1910	1911	1912	1914	1917	1919	1920
旧滄浪閣（伊藤邸跡・李王家別邸）																						
旧大隈別邸・旧古河別邸								6月　古河家市兵衛が購入		7月　市兵衛死去に伴い古河潤吉が所有			5月　潤吉死去に伴い虎之助が所有									
陸奥別邸跡・旧古河別邸																						
西園寺別邸跡・旧池田邸																						
世の中の動き																						

和暦	大正10	大正11	大正12	大正13	大正14	大正15 昭和元	昭和7	昭和12	昭和13	昭和14	昭和15	昭和16	昭和20	昭和21	昭和23	昭和25	昭和26	昭和27	昭和29	昭和31	昭和35	平成19	平成20	平成30
西暦	1921	1922	1923	1924	1925	1926	1932	1937	1938	1939	1940	1941	1945	1946	1948	1950	1951	1952	1954	1956	1960	2007	2008	2018
旧滄浪閣（伊藤邸跡・李王家別邸）																								
旧大隈別邸・旧古河別邸																								
陸奥別邸跡・旧古河別邸																								
西園寺別邸跡・旧池田邸	池田成彬　別邸→本邸(1917～1951) 三井合名理事に就任、日本銀行参与となる 大磯に地下1階、地上2階（屋根裏部屋付）の洋館を建築																							
世の中の動き																								

和暦	明治22	明治27	明治28	明治29	明治30	明治31	明治32	明治34	明治35	明治36	明治37	明治38	明治39	明治40	明治42	明治43	明治44	明治45 大正元	大正3	大正6	大正8	大正9
西暦	1889	1894	1895	1896	1897	1898	1899	1901	1902	1903	1904	1905	1906	1907	1909	1910	1911	1912	1914	1917	1919	1920
旧滄浪閣（伊藤邸跡・李王家別邸）																						
旧大隈別邸・旧古河別邸																						
陸奥別邸跡・旧古河別邸																						
西園寺別邸跡・旧池田邸	三井銀行筆頭常務となる 池田成彬が購入																					
世の中の動き																						

和暦	大正10	大正11	大正12	大正13	大正14	大正15 昭和元	昭和7	昭和12	昭和13	昭和14	昭和15	昭和16	昭和20	昭和21	昭和23	昭和25	昭和26	昭和27	昭和29	昭和31	昭和35	平成19	平成20	平成30
西暦	1921	1922	1923	1924	1925	1926	1932	1937	1938	1939	1940	1941	1945	1946	1948	1950	1951	1952	1954	1956	1960	2007	2008	2018
旧滄浪閣（伊藤邸跡・李王家別邸）																								
旧大隈別邸・旧古河別邸																								
陸奥別邸跡・旧古河別邸																								
西園寺別邸跡・旧池田邸	本邸と大磯別邸等の設計を曾禰中條建築事務所の中條精一郎に依頼 震災で麻布の本邸を焼失																	帝銀 帝国銀行（現三井銀行）に所有が移る	三井銀行所有　役員寮 三井銀行に所有が移り、三井銀行役員寮として使用された					3月現在は利活用されていない
世の中の動き																								